

- 2010年1月1日から2015年12月31日まで岡山大学病院 肝・胆・膵外科において肝胆膵高難度手術を受けられた方へ -

「The outcome of high-level hepato-biliary-pancreatic surgery in elderly patients」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究科長 那須 保友
岡山大学病院
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 肝・胆・膵外科
助教

榎田 祐三

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

肝胆膵高難度手術は術後合併症、死亡率が高い手術の一つであり、近年人口の高齢化に伴い肝胆膵高難度手術を受ける高齢者が増加しています。この研究の目的は、2010年1月から2015年12月の間に岡山大学病院肝胆膵外科で肝胆膵高難度手術を受けた患者さまを対象として、年齢が周術期成績に与える影響を調べることを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日から2015年12月31日まで岡山大学病院 肝・胆・膵外科において肝胆膵高難度手術を受けられた方約1000人を対象とします。

2) 研究期間

2017年8月4日 ~ 2022年7月31日

3) 研究方法

肝胆膵高難度手術を受けた患者さまを対象として、年齢が周術期因子、治療成績に与える影響を調査します。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は拒否機会期限終了時に削除し、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI (body mass index)、ASA (American Society of Anesthesiologists)、診断名、基礎疾患 (高血圧、糖尿病、高脂血症、脳疾患、心疾患、肺疾患、肝疾患、腎疾患)
- 2) 血液検査 (WBC数、Hb値、Plt値、Bil値、PT値、etc)、Child-Pugh score
- 3) 手術情報：術式、手術時間、出血量、輸血の有無
- 4) 術後情報：死亡率、合併症率、入院期間

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院東6病棟 データ整理室内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料の閲覧や提供を行います。個々の研究の結果は以下の理由により開示致しません。ご了承ください。

【理由】

匿名化し、かつ対応表を作成しておらず、個人を特定できないため

この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年9月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 肝・胆・脾外科 医員
電話：086-235-7257（平日9時00分～17時30分）
Fax: 086-221-8775

高木 弘誠